

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	財政課
基本構想	戦略的行政運営
重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(7) 安定的な財政基盤の確立
実施計画事業	1) 財政管理事業 (No.81)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	財政管理事務経費 (公会計システム)	98.5%	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<p>極めて専門性が高く、知識の蓄積・継承に大きな課題がある。</p> <p>国が数年内に新統一公会計基準を公表するので、対応が必要となる。</p> <p>現状では町民に分かり易い形での周知はできていない。</p>
--------------	---

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持</p> <p>B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある</p> <p>C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)</p>	B
	説明	<p>財産管理システムの導入、公会計システム導入とともに基準モデルを採用するなど、町村レベルとしては十分な成果をあげてきたと考える。また、システム導入のインシヤルコストも補助金を活用し、町負担を著しく抑制してきた。今後は、公表のあり方等に改善の余地があり、継続して検討課題として捉えていきたい。</p>

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	<p>安定した事務執行を求めるのであれば、町職員の能力に依存するのではなく、必要に応じて適宜アウトソーシングするほかない。システム経費などを含め、町村情報システム共同事業組合の活用等を検討しなければならない。</p>		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	<p>二宮町は、基準モデルを採用して実施しているが、システム採用も含め、自治体間で差異があるため、国レベルにおける統一モデルの構築等も考えられるところであり、今後の動向に留意する必要がある。</p>		